

「言語インテンシブコース」とは、所属する学類の学びを越え、特に身につけたい語学（英語、韓国語、中国語等）を集中的にトレーニングすることで、言語リテラシーを育むコースです。

1. 履修方法

○選抜条件・方法（英語コース）

「英語アチーブメントテスト」（4月上旬オリエンテーション時）の受験を条件とし、希望者の中から、15名程度を選抜する。

○選抜条件・方法（韓国語コース・中国語コース）

「韓国語Ⅰ」および「韓国語Ⅱ」、あるいは「中国語Ⅰ」および「中国語Ⅱ」の単位を修得したことを条件とし、当該科目の成績等を考慮に入れて、希望者の中から各コースそれぞれ15名程度を選抜する。

○手続き

言語インテンシブコースを希望する際には、ガイダンスに出席し、選抜条件を満たしていることを確認のうえで、「履修願」を教務課へ提出してください。また、Campusmate-Jの資格申請にて資格の申請を行ってください（P.24参照）。選抜条件を満たさない場合には履修願は自動的に破棄されます。なお、選抜後に履修放棄をしたい場合にも「履修放棄願」の提出が必要となります。

2. 修了

定められた要件の単位修得をした学生に「言語インテンシブコース修了証書」を授与します。

3. 授業科目及び修得要件

○英語コース

[必修科目]

区分	授業科目名	開講年次	単位数	修得要件	備考
A	Listening and Speaking I	1	②	16 単位	区分 A の科目をすべて履修し、Listening and Speaking IV および Reading and Writing IV の単位を修得しなければ、区分 B の履修は認めない。
	Listening and Speaking II	1	②		
	Listening and Speaking III	1	②		
	Listening and Speaking IV	1	②		
	Reading and Writing I	1	②		
	Reading and Writing II	1	②		
	Reading and Writing III	1	②		
	Reading and Writing IV	1	②		
B	Academic Writing I	2	②	16 単位	区分 B のすべての科目を履修し、Academic Writing II、Academic Reading II、Oral Presentation II、Discussion Skills II の単位を修得すれば、本コースの修了を認める。
	Academic Writing II	2	②		
	Academic Reading I	2	②		
	Academic Reading II	2	②		
	Oral Presentation I	2	②		
	Oral Presentation II	2	②		
	Discussion Skills I	2	②		
	Discussion Skills II	2	②		

※上記区分 A は卒業に必要な 124 単位数に含まれない「自由科目」となります。

[推奨科目] (人文社会学類のみ)

区分	授業科目名	開講年次	単位数	修得要件	備考
学類専門科目	英文法	2	2	-	左記の科目を履修することで、コース修了後にも、継続的な英語学修が可能となります。
	英語学概論	2	2		
	英語史	3	2		
	英語音声学	3	2		
	英語発音・聴解演習	3	2		
	異文化コミュニケーション学	3	2		
	英米文学論	3	2		
	英米文学演習	3	2		
演習科目	卒業研究Ⅰ	3	4	-	卒業研究Ⅰ・Ⅱにおいて継続的に英語系の演習授業を受講することで、さらなる英語学修や教職免許取得へ向けたトレーニングとなります。
	卒業研究Ⅱ	4	6		

[推奨科目] (全学群向け)

区分	授業科目名	開講年次	単位数	修得要件	備考
言語コミュニケーション科目	英会話 (リスニング・スピーキング)	1	2	-	教養教育科目の中のコモンベシックス科目から左記科目を選択し、さらに英語を学ぶことができます。
	英語ライティング	1	2		
	発展リーディング	2	2		
	英語で学ぶ文化	2	2		
	資格英語	2	2		

○韓国語／中国語コース 授業科目及び修得要件

[必修科目]

区分	授業科目名	開講年次	単位数	修得要件	備考
A	韓国語Ⅰ	1	②	4単位	どちらかの語学Ⅰ、Ⅱをセットで履修。
	韓国語Ⅱ	1	②		
	中国語Ⅰ	1	②		
	中国語Ⅱ	1	②		
B	実践韓国語Ⅰ	2	②	8単位	どちらかの語学をⅠ～Ⅳまで履修。区分Aを履修し、単位を修得しなければ区分Bの履修は認めない。
	実践韓国語Ⅱ	2	②		
	実践韓国語Ⅲ	2	②		
	実践韓国語Ⅳ	2	②		
	実践中国語Ⅰ	2	②	8単位	
	実践中国語Ⅱ	2	②		
	実践中国語Ⅲ	2	②		
	実践中国語Ⅳ	2	②		

[推奨科目]

区分	授業科目名	開講年次	単位数	修得要件	備考
演習科目	東アジア文化演習Ⅰ	3	2	-	コース修了後に履修することで、より実践的な語学力を身につけて、現地実習に臨むことができる。
	東アジア文化演習Ⅱ	3	2	-	

※但し、言語インテンシブコースについては、履修登録の内容によっては受講ができない場合があります。